



## 岡田眞善と歩く大正浪漫街道 ～絶景フォトツアー～

11月10日、紅葉の名所である「大正浪漫街道」で、カメラ好きな女性を対象にした「絶景フォトツアー」が開催され、県内外から9人が参加しました。ラジオパーソナリティで、市まちづくり大使の岡田眞善さんとともに、塩原の紅葉スポットを巡り、「私だけが見つけた塩原の景色」をカメラに収めようという今回の企画。天候にも恵まれたこの日は、色づく塩原の景色を上手く写真におさめようと夢中で楽しんでいました。



## オリンピック選手ってカッコイイ！ ～塩原小中 オリ・パラ教育推進事業～

晴天に恵まれた11月28日、塩原小中学校で行われたオリンピック選手による陸上競技教室。この日は、400mハードルのブラジル代表として北京とリオ、2度の出場経験も持つ杉町マハウ選手が訪れ、実技指導と講演会を開催しました。

杉町選手が走りを披露すると、その足の速さとジャンプ力に子どもたちは目を奪われていました。講演会では「夢に向かって挑戦する気持ちが大事」と激励の言葉が子どもたちに送られました。



## 生で見るフェンシングの迫力に驚嘆 ～スポーツ交流大会～

12月15日、国際フェンシング連盟副会長の太田雄貴<sup>ゆうき</sup>さんを講師に迎えて、にしなすの運動公園でスポーツ交流大会が開催されました。太田さんは北京(2008)とロンドン(2012)のオリンピックで、2大会連続の銀メダルを獲得。現在はフェンシングの魅力も多くの人に知ってもらうため、精力的に活動しています。会場を訪れた約150人の観客は、現役選手の迫力あるプレーに歓声を送っていました。



1 使用する剣の説明をする太田さん。剣先には攻撃が当たったときに反応するセンサーが取り付けられている。 2 一瞬で勝負が決まるフェンシング。太田さんは競技内容や、試合の様子について分かりやすく説明してくれた。 3 現役選手に挑戦した鎌田光君と安藤幸輝君。(共に三島小4年) 4 子どもたちは、体格差をもとめず果敢に攻めていた。



## キャンドルの優しい灯りに包まれて ～黒磯駅前キャンドルナイト～

今回で23回目を数える恒例行事・黒磯駅前のキャンドルナイトが12月8日に開催されました。地元の小中学校や消防、警察や企業などがオリジナルのキャンドルを展示。再整備が進み、少しずつ姿を変える駅前通りに、5,000を超えるキャンドルの灯りが優しくともりました。

訪れた多くのお客さんは、いつもより心なしか穏やかに流れる時間の流れを、思い思いに楽しんでいるようでした。



## 新しい仲間と異国の地で野球を ～モスト絆プロジェクト in ハワイ～

東日本大震災の復興のため、福島県の野球少年をハワイの野球大会に招待し、国際交流を図るモスト絆プロジェクト in ハワイ。大田原ボーイズに所属する日新中3年の小筆琉世<sup>こひでりゅうせい</sup>君は東日本大会での活躍が認められ、栃木県内から特別に選抜。小筆君は「外国人選手とのパワーやスピードの違いを感じました。そして、今回初めて出会ったチームメイトとハワイでの生活を通じて絆を深め、貴重な経験ができました」と振り返りました。



## 解体ショーの迫力に目が釘付け ～平成30年度 市場祭～

11月25日、黒磯那須公設地方卸売市場で市場祭が開催されました。全国各地から集まる旬な食材を求め、多くのお客さんが会場を埋め尽くしました。中でも、ひときわお客さんの目を引いたのが、生マグロの解体ショー。この道50年のベテラン・魚七のご主人が40キロを超えるマグロをさばきました。手際よく大きな包丁が入れられ、あっという間にマグロは5枚おろしに。その後、列をなすお客さんの手に次々と渡っていきました。



## 激しく叩いて豊作祈願 ～嶽山箒根神社 梵天上げ～

「ワッショイ、ワッショイ」威勢のよい掛け声のどかな田園地帯に響き渡ります。11月23日、宇都野地区にある嶽山箒根神社の例大祭で、市の無形民俗文化財になっている梵天上げ(梵天まつり)が行われました。孟宗竹で作られた梵天を割れるまで激しく地面に叩きつけ、五穀豊穡を願うこの祭り。今年も6本の梵天が神社に奉納されました。参道には多くの人たちが見物に訪れ、梵天が近くを通ると拍手喝さいが起っていました。